



個人投資家セミナー

2022年12月5日

三菱商事株式会社 IR部

免責事項

- ・本資料にて開示されているデータ、将来予測、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、本資料の発表日現在の判断や入手可能な見積、予想、期待に基づいています。これらは、さまざまな不確実性が内在しており、実際の業績は経営環境の変動などにより、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本情報は、今後予告なしに変更されることがあります。情報、及び資料の利用は、他の方法により入手された情報と共に照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 質疑応答

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 質疑応答

名称・設立



三菱商事株式会社
(証券コード：8058)
1954年 7月1日

グローバルネットワーク



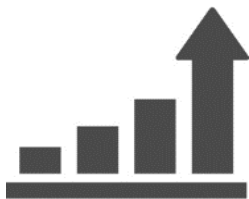
国内および海外
約90カ国に拠点
2022年4月1日時点

連結対象会社数



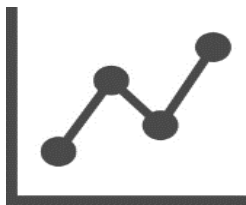
子会社 1,290社
関連会社等 432社
.....
計 1,722社
2022年9月30日時点

連結純利益



21年度実績 9,375億円
22年度見通し 1兆300億円
(上方修正後)

総資産と時価総額



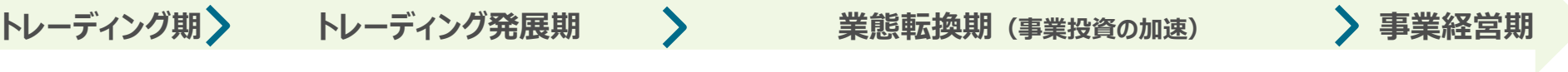
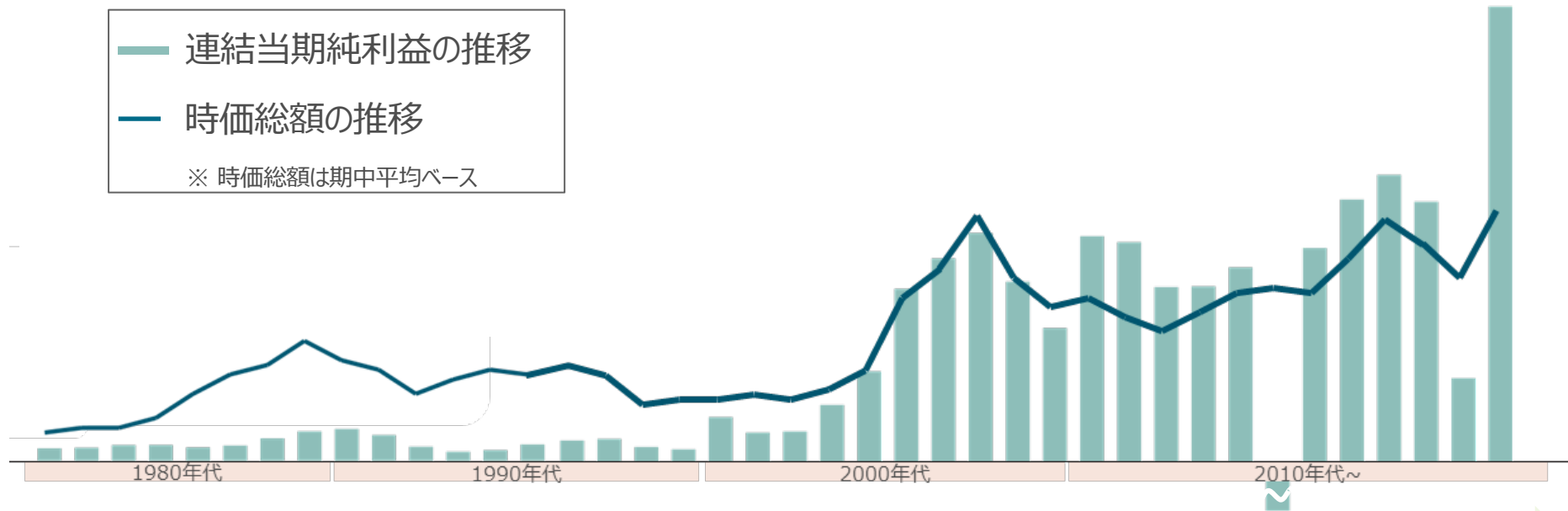
総資産 約23 兆円
2022年9月30日時点
時価総額 約6.55 兆円
2022年12月2日時点

配当と利回り



年間配当金 155円
配当利回り 3.49%
2022年12月2日時点

数字で見る三菱商事



Tri Petch Isuzu Sales社
自動車
1974年設立



タンガーLNGプロジェクト
天然ガス
2001年参画



BMA社
鉄鋼原料
2001年設立



Cermaq社
鮭
2014年子会社化



Eneco社
再生可能エネルギー
2020年子会社化



10の営業グループに加え、今年7月に産業DX部門を新設

天然ガスグループ





総合素材グループ





石油・化学ソリューショングループ





金属資源グループ





産業インフラグループ





産業DX部門





自動車・モビリティグループ





食品産業グループ





コンシューマー産業グループ





電力ソリューショングループ

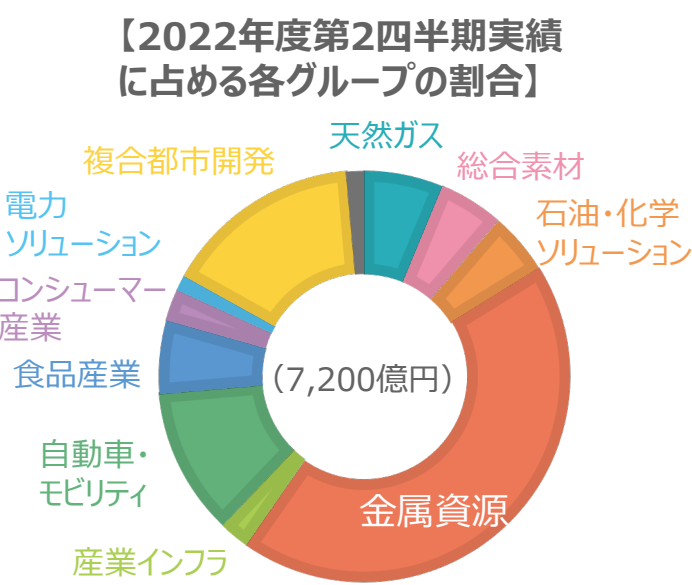




複合都市開発グループ









- 天然ガス／LNGは相対的に環境負荷が低く、**カーボンニュートラル社会への移行期における重要なエネルギー源**と位置付けられている。
- 北米、東南アジア、オーストラリア等、世界中で展開するLNG事業やシンガポールに於けるマーケティング活動等を通じ、気候変動・大気汚染等の環境問題の解決を図りながらエネルギーの安定供給を担っている。



- 食糧、生鮮品、生活消費財、食品素材などの「食」に関わる商品を消費者にお届けする事業をグローバルに展開する。
- **原料の生産・調達から製品製造に至るまで**の各事業領域において、消費者のニーズを捉えた商品・サービスを安定的に提供し、多様で豊かな生活の実現に取り組んでいる。





- 再生可能エネルギーを「**つくる（発電）**」、天候により変動する電気を「**整える（需給調整）**」、そして整えた電気と付加価値の高いサービスを「**届ける**」。
- これらの電力バリューチェーンの事業を核として、水事業を含む多様化するユーティリティーニーズに応えるさまざまな取り組みを行っている。





- 石炭・鉄鉱石などの鉄鋼原料、銅・アルミなどの非鉄金属の各分野において、トレーディング、開発、投資などを通じて、事業経営に携わる。
- 加速する脱炭素、電化、循環型社会への移行という社会環境の大きな変化を捉え、ビジネスをさらに変革させ、**原料供給を通じてEX戦略の推進に貢献**する。





1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

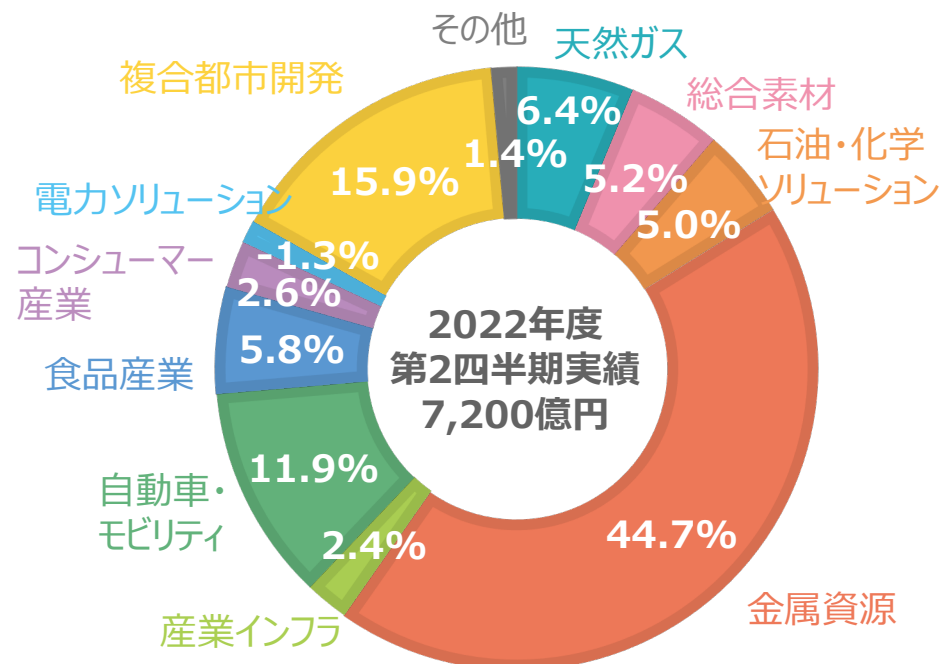
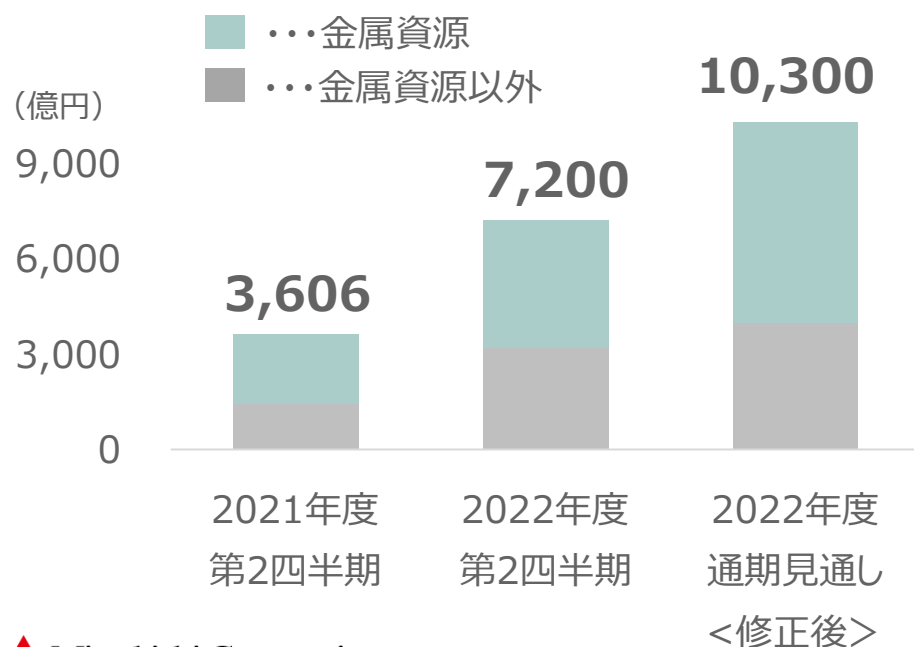
4 質疑応答

2022年度第2四半期実績

- 前年同期比約倍増となる7,200億円で、**第2四半期として過去最高益を更新**
- 金属資源に加え、複合都市開発、自動車・モビリティ、総合素材、石油・化学ソリューション等、他セグメントも堅調に推移

2022年度通期見通し

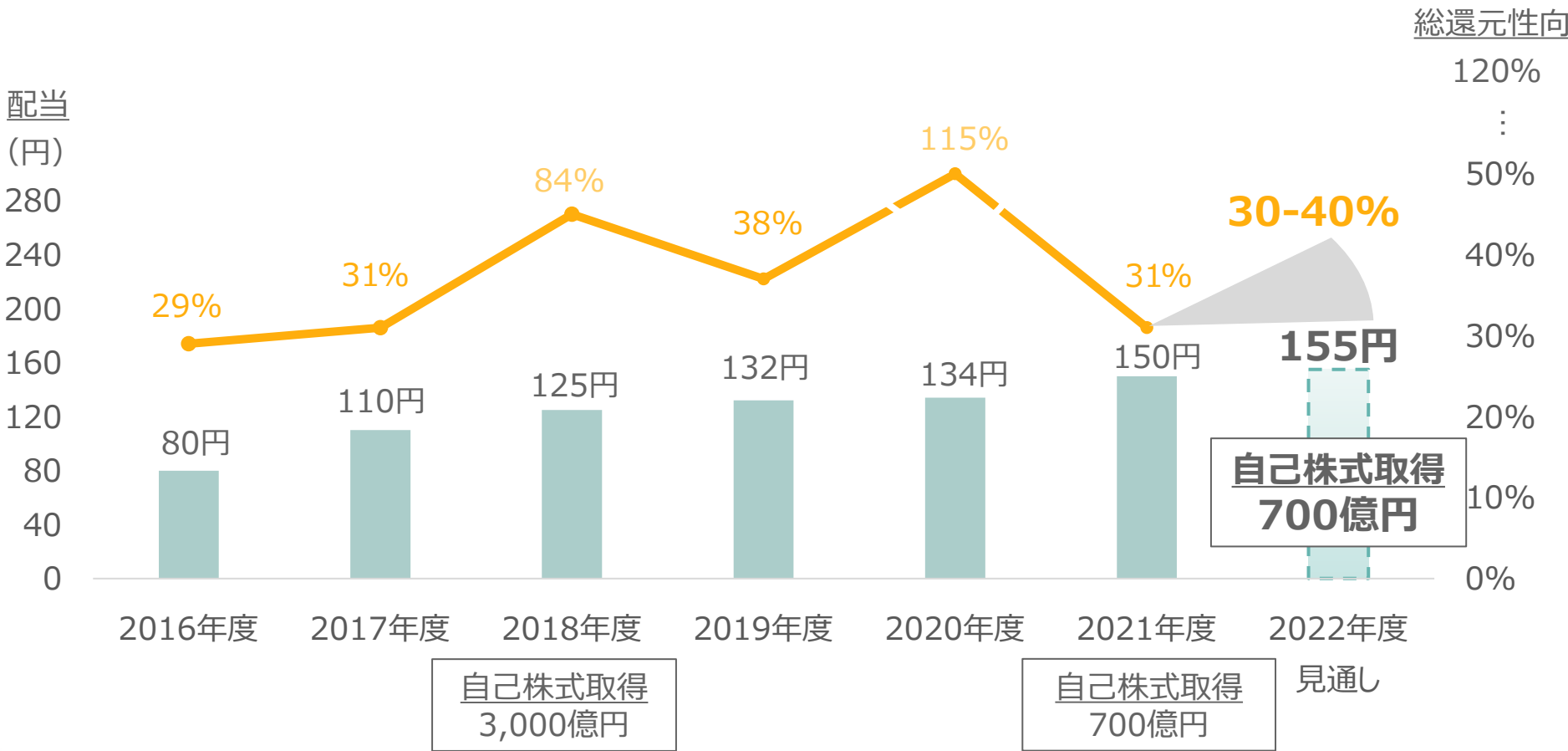
- 5月公表の8,500億円から+1,800億円の**1兆300億円に上方修正（当社初の1兆円台）**
- 年度後半は世界経済の減速等を考慮し、下振れリスクを織り込む



株主の皆さまへの還元について

2022年度見通し

- 中期経営戦略2024に従い、配当・自社株買いによる**総還元性向30-40%目処**を目指す
- 2022年度の1株当たり配当を150円から5円引き上げ155円とすることを決定
- 2022年度第2四半期に自己株式取得700億円を決定
- 追加の還元幅は、中期経営戦略の方針に基づき、年度後半にかけて見定める



1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 質疑応答

それではこのたび公表いたしました

中経2024で
目指すこと

MC Shared Value（共創価値）の創出

定量・還元

- ・価格要因を除いた利益の着実な成長、累進配当と機動的な自社株買いによる株主還元
- ・財務規律に基づくキャッシュフロー管理、将来の成長に向けた投資計画・事業ポートフォリオ

1

トランスフォーメーションを主導し、
成長につなげる

成長戦略

- EX戦略（脱炭素ソリューションプロバイダー）
- DX戦略（リアルとデジタルの融合）
- 未来創造（新産業創出／地域創生）

2

規律ある成長で未来へつなぐ

経営管理

- 経営管理制度

3

多様なインテリジェンスをつなぐ

推進メカニズム

- 組織体制
- タテ×ヨコによる総合力最大化
- 総合力最大化の推進メカニズム

4

多彩・多才なヒトをつなぎ、
活気に満ちた組織へ

人事施策

- 人的資本の価値最大化

5

多様なステークホルダーとつながり、
社会から信頼され続ける存在へ

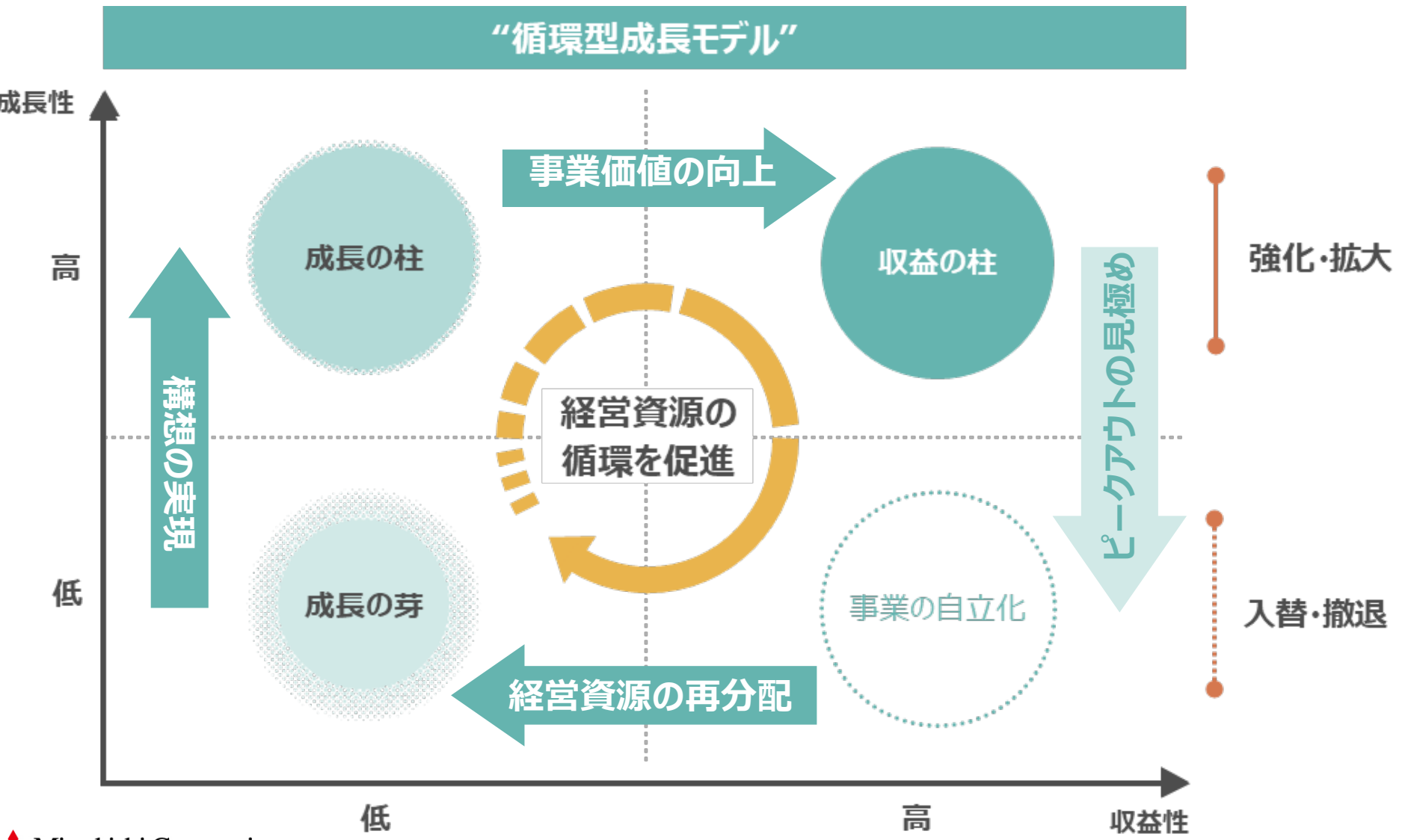
サステナビリティ
施策

- マテリアリティ
- 「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」に関する取り組み

つなげ・つながること
三菱商事グループならではの
総合力を最大化

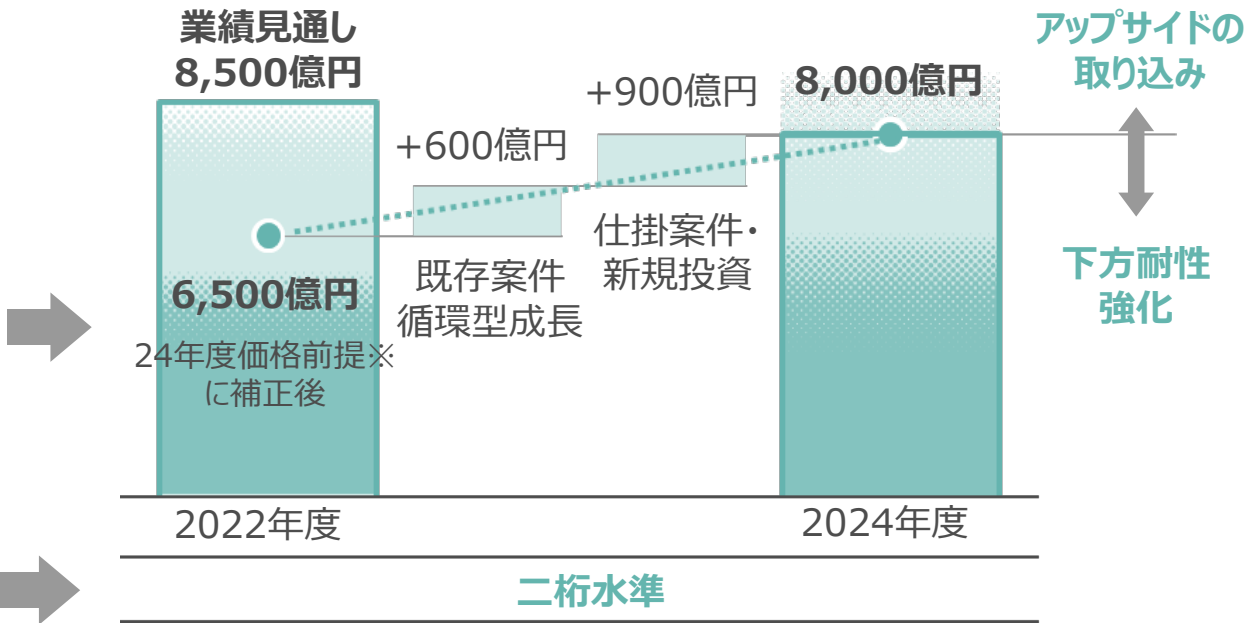
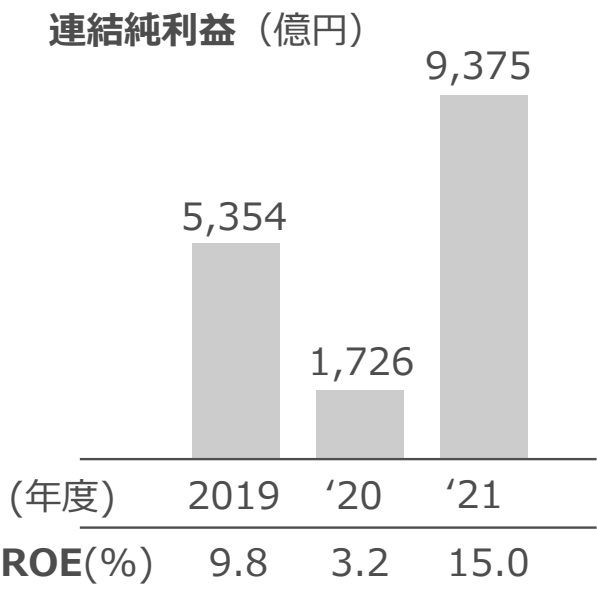
経営管理制度（循環型成長モデル）

事業環境の変化に対応し、循環型成長モデルへの取組を加速することで、経営資源を次の成長の芽・成長の柱に入れ替える。



定量目標

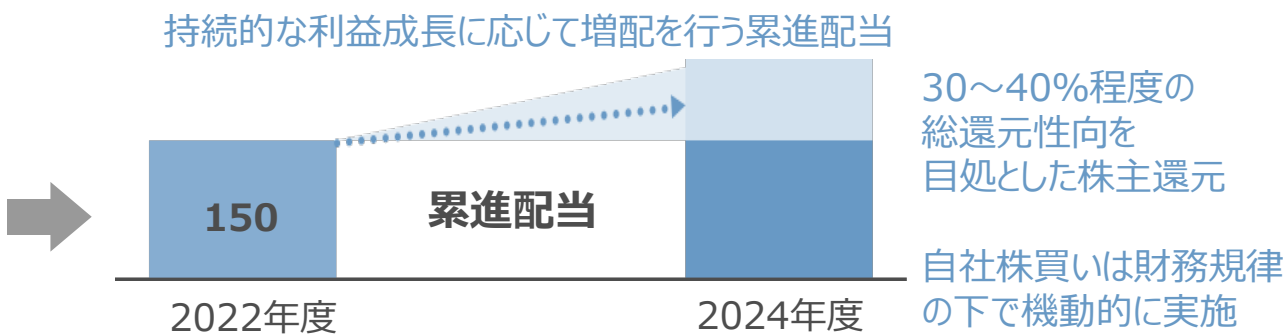
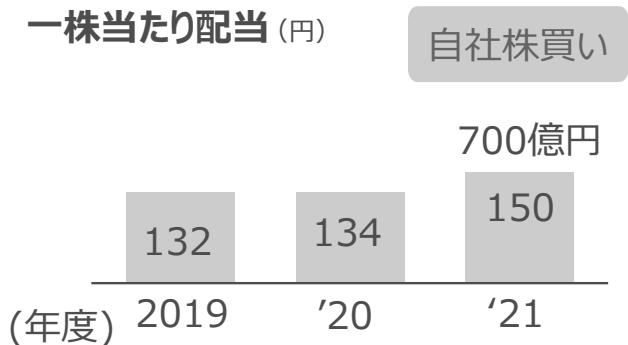
価格要因を除いた利益の着実な成長



※主な価格要因：金属資源（原料炭、銅、鉄鉱石）、天然ガス（原油、ガス、LNG）

株主還元

財務健全性、配当の安定成長、株主還元に対する市場期待の3つのバランスがとれた還元政策



投資計画・事業ポートフォリオ

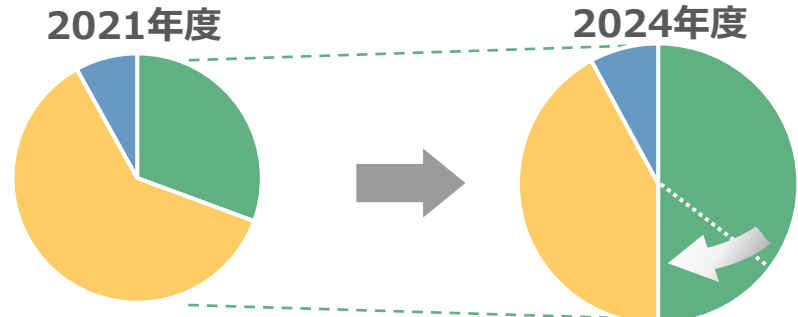
中経期間で3兆円規模の投資を計画。特にEX関連分野への投資を加速。
同時に、収益基盤の維持・拡大とDX・成長投資関連分野への投資も着実に促進していく。

2022年度～2024年度の投資計画

分野	投資規模	中経2024の主な投資対象	2030年度
収益基盤の維持・拡大	約1兆円	原料炭 食料 自動車 等	創出したCFを将来の成長に向けてEX／DX・成長投資関連に配分 EX関連投資を加速 ・「カーボンニュートラル社会へのロードマップ」で、 2030年度迄に2兆円規模のEX関連投資 を計画 ・EX関連投資への加速を通じて、ポートフォリオを強靱化し、脱炭素化とエネルギー安定供給の両立を目指す
EX関連	約1.2兆円	銅 天然ガス 再生可能エネルギー 次世代エネルギー 電池材・ボーキサイト 等 (水素・アンモニア・バイオ等)	
DX・成長投資関連	約0.8兆円	デジタルインフラ 都市運営 サプライチェーン最適化 都市開発 等	

事業ポートフォリオ
(投融資残高 内訳)

- 収益基盤の維持・拡大
- EX関連
- DX・成長投資関連



- EX関連事業ポートフォリオを、3割（2021年度末）から**4割程度（2024年度末）に拡充**
- 将来的には5割程度に引き上げていく

ご清聴、誠にありがとうございました。

1 会社概要

2 業績と株主還元

3 成長戦略（中期経営戦略2024）

4 質疑応答

当社をより分かりやすく知っていただくため、
最新の決算情報をはじめ、様々な情報を掲載しています。

三菱商事 投資家情報



<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/>



最新の決算情報を掲載

個人投資家・株主向け
コンテンツも充実